



## 猿啄城跡とは…

猿啄城跡は坂祝町の勝山に存在した室町・戦国時代の城跡で、現在は坂祝町指定史跡となっています。また、標高265mの山頂には、展望台が設置され、30～40分の散策コースを楽しみながら豊かな日本ラインの美しい景色を楽しむことができます。

## 猿啄城の歴史

別の名を猿飛城、根尾山城とも呼びました。記録によれば、応永14年(1407年)の頃、西村豊前守善政にしむら ぶぜんのかみ よしまさの城であったそうです。下って享禄3年(1530年)から田原左衛門たはら ざえもんの居城となり、天文16年(1547年)には同族の多治見修理むほんが謀叛により城を奪いました。以後18年間在城しましたが、永禄8年(1565年)丹羽長秀は織田信長に命じられて東美濃を攻め、その緒戦で先陣かわじりひでたか しげよしの河尻秀隆(鎮吉)らが落城しました。このとき、信長は幸先よしと猿啄城の地名を勝山と改称、以後勝山城となりました。功により河尻秀隆(鎮吉)は勝山城主となりましたが、天正3年(1575年)岩村城へ移るに及んで廃城となりました。(菩提寺町内にあり)

(猿啄城史より)

## 歴史に思いを馳せる猿啄城跡の景色

### 猿啄城からの景色



御嶽山方面



加茂・可児方面



濃尾平野(名古屋のツインタワー)

### 猿啄城跡の位置



南側は急な坂になっている



北から南西にかけて山続き

## お問い合わせ：坂祝町役場 総務課

〒505-8501 岐阜県加茂郡坂祝町取組46-18  
TEL: 0574-26-7111 / FAX: 0574-27-1808  
E-MAIL: kikaku@town.sakahogi.gifu.jp

四季折々の景観を楽しめる猿啄城跡と  
展望台への散策のご案内

# 猿啄城跡を歩く

# 猿啄城跡散策スポット

展望台から見える日本ラインの美しい景色をご堪能ください。



展望台

## 周辺散策地図

展望台は1997年12月に、坂祝誕生100周年を記念して、標高265mの城山山頂に建てられました。日本ライン(木曾川)の美しい流れや坂祝の町はもちろん、恵那山や中央アルプス、御嶽山、白山などの山々、晴れた日には遠くに伊勢湾や名古屋ツインタワーも望むことができます。



## 散策のご案内



1 猿啄城跡入口記念碑



2 展望台の公衆トイレ



3 登山道入口の標識



散策道中の案内



散策途中の景色



※標高は国土地理院地図より